



異邦人への憐れみ

シリーズ～旧約聖書入門～

2012/7/22

カルメル山後のエリヤ 列王記上19章

- 北イスラエル王国は、アハブ王の時代に妻イゼベルの影響によりバアル礼拝が盛んになった
- 預言者エリヤは、カルメル山で、バアルとアシェラの預言者850人と対決し、勝利した
- そのことを知ったイゼベルがエリヤを殺す、と宣言した時、彼は恐れて逃げた
- 主はエリヤを優しく扱い、癒し、最後の務めとして、アラムの王と北王国の王、そして後継者エリシャを任命するよう命じられた

後継者, エリシャ

- エリヤはその後にも預言者として活動し、エリシャは共にいた
- エリヤが天に上った時、エリシャは「あなたの霊の二つの分をわたしに受け継がせてください」と願った
 - 「彼らが話しながら歩き続けていると、見よ、火の戦車が火の馬に引かれて現れ、二人の間を分けた。エリヤは嵐の中を天に上って行った。」列王記下2:11
- エリシャはエリヤのように活躍した！

アラムの将軍ナアマン 列王記下5章

- 北王国の北東に隣接するアラムとの間には戦いが繰り返されていた
 - 時には北王国を罰するために用いられた
 - アハブ王はアラムとの戦いで死んだ
- アラムに主君に重んじられたナアマンという司令官がいた
 - 「主がかつて彼を用いてアラムに勝利を与えられた」
- 彼は勇士であったが、重い皮膚病を患っていた

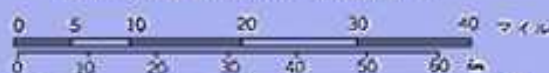


エリヤはツァレファテに身を隠し、やもめの息子を生き返らせた。

イスラエルとユダの王国

B.C. 925~842頃

Copyright by C. S. HAMMOND & CO., N. Y.



一年中流れる川 首都
季節によって流れる川 エジプトおよびシリアの攻撃

大海
(地中海)

アハブとイゼベルとの結婚に伴いもたらされたフェニキヤの祭儀は、イスラエルに暴動を引き起し、ついにオムリが全家が一掃されるに至った。

要塞首都サマリヤは、B.C. 870頃オムリによって建てられた。

北イスラエル王国

サマリヤ

ダマスコ

アラム



ナアマン,送り出される

- イスラエルから捕虜として連れてこられていた少女が,ナアマンの妻に,祖国にいる預言者エリシャを訪ねるよう進言した
 - 「御主人様がサマリアの預言者のところにおいてになれば、その重い皮膚病をいやしてもらえますように」
- 妻はナアマンに,ナアマンは主君にそのことを告げると,主君は手紙と贈り物を与えて,快くナアマンを送り出した
 - 「アラムの王は言った。「行くがよい。わたしもイスラエルの王に手紙を送ろう。」こうしてナアマンは銀十キカル、金六千シェケル、着替えの服十着を携えて出かけた。」

ナアマン,エリシャに会いに行く

- ナアマンの来訪に,北イスラエル王国の王は衣を裂いて怒った
 - 「わたしが人を殺したり生かしたりする神だとも言うのか。この人は皮膚病の男を送りつけていやせと言う。よく考えてみよ。彼はわたしに言いがかりをつけようとしているのだ。」7
- そのことをエリシャは聞きつけ,ナアマンを自分の所によこすよう,伝えた
- ナアマンはエリシャの家の入り口に立った

ナアマン,癒される

- エリシャは使いを送り,ヨルダン川で7度体を洗うように,ナアマンに伝えた
 - 「ヨルダン川に行って七度身を洗いなさい。そうすれば、あなたの体は元に戻り、清くなります。」
- ナアマンはエリシャ自身が何もせず,しかも他国の川で体を洗えと言ったので憤慨して立ち去ろうとした
- 家来たちの説得により,ナアマンがヨルダン川で体を洗うと,皮膚病はすっかり治った
 - 「彼の体は元に戻り、小さい子供の体のようになり、清くなった」

ナアマン,主を信じる

- ナアマンはエリシャの所に来て,感謝した
 - 「イスラエルのほか、この世界のどこにも神はおられないことが分かりました。」15
- エリシャがナアマンの贈り物を固辞したので,この国の土を持って帰ることと,主君と共にリモン神の神殿でひれ伏すことを赦してくれるよう頼んだ
 - 「僕は今後、主以外の他の神々に焼き尽くす献げ物やその他のいけにえをささげることはしません。」17

このお話が教える真理

- 主は、イスラエルだけの神ではない！
 - これまでの歴史では主は専らイスラエルの民だけの神であるように思えたが…
- 主の御業に預かるためには、プライドや経験則を捨て、子どものように素直に信じなければならない
 - 多少の忍耐も必要となる
- 異教世界で主を信じることに困難はあるが、主はその人の信仰を見ておられる
 - 「安心して行きなさい」byエリシャ